

つべつまち物語

NO. 42

「活汲村物語」～「つべつまち物語」にリニューアルします。

国鉄津別相生線廃止、活汲小中学校閉校と目の前が矢継ぎ早に変わって行く様を見て、この地域の事を少しでも記録に残さなければと始めました。

活汲も高齢・過疎化は進んでいますが、新しい動き、盆踊り祭りの復活・活汲学校の再利用・消防団の充実など、次に向けての胎動を感じます。

これからは津別町全域の躍動を発信して行き、今後田舎ミニコミ誌が旬の野菜と共にお知らせしたく

「つべつまち物語」に変更します。



つべつまち物語～津別町共和 in 石川ファーム

令和元年11月、国道240号線沿い共和の石川ファーム（石川賢一代表49歳）さんが農林水産省主催の畜産部門で最高賞・天皇杯を受賞されました。

戦後の入植で、石川賢一（三代目）さんは高校卒業後、二年間帯広とカナダで研修し、30歳で経営委譲され、平成11年のヨーロッパの有機酪農海外研修が転機のかっかけでした。研究会を立ち上げ、明治乳業で販売です。

話を伺うと、「仲間がいたので心強くやれ、受賞は皆に感謝です。牛は三種類いて、いろんな品種の個性があり、子供らも喜ぶし、白黒ばかりでなく、いろんな牛を飼っていて楽しいですよ。」皆に感謝しながら、かしこまって話をしていたが、やはり牛の話になると笑顔で一杯だった。

